

「中核充填所」整備の背景

2011年の東日本大震災、そして翌年の九州北部豪雨により、多くの被害が生じました。さらに、ライフラインの寸断により被災者にさらなる生命の危機が生じました。

その際、LPガスにより避難所における炊き出し用の燃料として、あるいは仮設住宅の炊事用の燃料として、被災後短期間で有効に利用されました。さらに、一部の都市ガスの供給地域においては、都市ガスが復旧されるまでの間、避難所や病院、老人福祉施設等の燃料としてLPガスが利用されました。

このような利点から、地域に根差すLPガス事業者として、経済産業省の指導のもと、大規模な災害により停電や電話不通、自動車燃料不足の事態が生じて、可能な限りLPガスの充填を行い、お客様へお届けできるようになりました。

中核充填所としての義務

従来からLPガスは災害に「強い」エネルギーですが、中核充填所に指定されたことによって、さらに災害対応力を高め地域との連携に努力いたします。

中核充填所には下記の通り、いくつかの義務事項があります。

- 停電時にはLPガス発電システムが起動し、LPガス充填への電力の安定供給が可能になります。
- LPガスを燃料とした容器運搬車両と保安点検車両を所有し、緊急時の対応が可能になります。
- 国、県、市町村や警察、消防及び大分県LPガス協会本部との緊急通信が可能な衛星電話を配備します。。

大分県の中核充填所マップ

大分県には中核充填所に指定された事業所が3カ所あります。

- 1、株式会社ホームエネルギー九州（大分）
- 2、有限会社土居燃料（竹田）
- 3、株式会社山国商会（中津）



大分県

連携活動

中核充填所3社は中核LPガス協会の指導のもと、常に連携に努力しています。

充填所設備概要

所在地	大分県中津市沖代町1-3-1
敷地面積	7,784㎡（2,358坪）
充填所面積	136.03㎡
貯槽	20tプロパン貯槽 ×1 基 15tブタン貯槽 ×1 基
ガス圧縮機	5.63kW ×1 基
液送ポンプ	3.7kW ×2 基
充填機	固定式電子充填機 ×2 台
処理能力	プロパン46,625㎡/日 オートガス40,042㎡/日



20tプロパンタンク・15tブタンタンク



衛星電話



IsatPhon Pro

オートガスディスペンサー

タツノLPGディスペンサー
ダブル正面ノズル型
（両面2カウンター）

非常用LPガス発電機

デンヨー発電機
LPガスエンジン発電機 54kVA

固定式電子充填機

キョエイ株式会社
KTS-II型

日本語表示の対話式・大型液晶画面を採用し、容器情報・作業状況・充填容量・残ガス容量等など容易に確認